

もみの樹

かかりつけ医から皆さんへ



医療法人財団圭友会 小原病院
副院長・在宅診療部長

服部 雅俊

もみの樹と協力体制を築いて、充実した医療をご提供。

小原病院は中野区に位置する医療療養型病院です。1955年設立の歴史ある病院ですが、訪問診療を開始したのは2014年からです。高齢者の半数以上が「自宅や施設で療養したい、最期まで過ごしたい」と希望する一方で、実際には介護困難などを理由に入院となる場合も多々あります。ひとつの病院でその両方に対応することで、大きな安心を提供することが可能になりました。

もみの樹・杉並のご入居者の診療を担当することになったきっかけは、偶然的な出来事からでした。当院入院中の方が余命わずかととなり、最期は自宅近くの施設で過ごしたいと希望されました。その施設がもみの樹・杉並で、当院在宅診療部が引き続き主治医として診させて頂くことになった訳です。そのとき施設スタッフの一員であった長野さんがその後館長に就任され、他のご入居者

のご紹介も頂くようになりました。当院の理念である“人の気持ちを汲む医療”と、もみの樹・杉並における“安心のための充実したメデイカル”とが、見事に一致した結果だと考えております。

もみの樹・杉並は老人ホームでありながら、医療面の充実度は病院に匹敵するレベルです。胃ろうや尿道カテーテルはもはや当たり前で、気管カニューレ、中心静脈栄養、末期がんの緩和ケアなど、他の施設では困難な状態の方も積極的に受け入れておられます。またスタッフの方々もこれらの医療処置に前向きに取り組まれ、かかりつけ医としても安心して任せられる体制です。

施設スタッフと主治医の信頼関係が、ご入居者とご家族の安心や安全に繋がると確信しております。これからも“人の気持ちを汲む医療”を実践し、“安心のための充実したメデイカル”を提供して参ります。



看護師・高橋さん 大石先生 服部先生

はっとり まさとし 服部 雅俊

医療法人財団圭友会 小原病院 副院長・在宅診療部長

1992年に東京医科大学卒業し、同年4月東京医科大学病院 臨床病理学講座入局。
1993年1月救命救急部へ異動。
1993年4月同愛記念病院 内科研修医。
1994年4月東京医科大学 臨床病理学講座臨床研究医。
1997年10月東京医科大学霞ヶ浦病院 中央検査科 助手。
1998年4月東京医科大学霞ヶ浦病院 感染症科 助手。
2000年4月齋藤記念病院 内科。
2009年4月齋藤記念病院 内科部長。
2014年4月小原病院 副院長(診療部長兼任)、2016年4月在宅診療部長兼任。
この他、日本在宅医学会および日本緩和医療学会の会員として活動。